



特長

マダムダリアの魅力は、
その花色

花色は季節により
変化し、色幅もあるが、
その変化も楽しめる

草丈がコンパクトで
花付きがよい

鉢植えがおすすめ
(7号鉢位)

マダムダリア

多年草(球根植物)

キク科ダリア属

開花期：春～夏(5月～7月)

秋(9月中旬～11月上旬)

※関東基準

商品サイズ 10.5cm

中～大輪のゴージャスな花



置き場所

春秋は、日当たりが良く、風通しの良い場所へ置く。
真夏は、明るい半日陰がよい。
長雨の時は、雨を避けて軒下などへ置く。

耐寒性

弱い、5℃以上

春に購入した場合

冬に地上部が枯れ始めたら、株元から切り取り、水やりを止めて乾燥させ、5℃以上保てる場所で保管する。
春になったら日当たりのよい場所へ置き、新芽が出てきたら植え替えをする。
冬越しが上手くできれば、春から初夏に花が咲いてくる。

秋に購入した場合

まだ球根が充実していないので、花が終わったら、花茎はすべて切り戻して、乾燥させないで室内で越冬させるとよい。
この場合は、用土が乾いたら水やりを行う。
夜間温度は8℃位はあるとよい。
冬越しが上手くいけば、春に再び花を咲かせる事ができる。

耐暑性

耐暑性は普通。

真夏の高温多湿期は、風通しのよい明るい半日陰、あるいは午後から日陰の場所へ置く。

用土

水はけのよい用土に緩効性肥料を元肥として入れる。草花用培養土でも植えられる。
鉢底に軽石などを入れて、水はけをよくしておくとうよい。

肥料

開花期は月1回の置き肥、あるいは2週間に一度の液肥を与える。
夏の肥料は控える。秋、花が咲き始めたら追肥を始める。

水やり

用土が乾いたらタップリとかけるが、濡れている場合はかけない。
開花中は水切れに注意。夏の水やりは、日中を避けて朝早く行うか、あるいは夕方に行う。

植え替え

開花株を買って植え替える時は、ダリアの根はデリケートな球根植物なので、根鉢はくずさず、そのまま一回りから二回り大きな鉢に植え替えるとよい。

お手入れ

花が終わってきたら、花のすぐ下から切り取る。
切り取る時期は、花びらが落ち始めるか、あるいは花色が褪せてきたら切り取る。

夏前に花が咲き終わったら、草丈は半分位の高さに切り戻しておく、新芽が伸びて、秋に再び花が咲く。切り戻した後は、雨を避けた場所に置いた方がよい。

jardin
ハルディン



トロピカルブリーズ



レモンスワール



ローズスワール